

# 質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	清水浩徳	<p>◎ 国土強靱化地域計画について</p> <p>平成25年12月に、「強くしなやかな国民生活を図るための防災・減災等に資する国土強靱基本法」が公布・施行されたが、対策のベースとなる市区町村の計画が進んでいない。</p> <p>政府は地域の防災・減災を加速させるため、「国土強靱化地域計画」の策定を促進する方針を今年8月に示している。</p> <p>北海道で既に計画を策定している団体及び市町村数は17団体、策定中または策定予定の市町村は68団体であり、この中に鹿追町も含まれている。</p> <p>(1) 鹿追町国土強靱化地域計画策定の進捗状況は。</p> <p>(2) 計画に明記する推進事業内容は。</p>
2	狩野正雄	<p>◎ 施設、備品の管理方法について</p> <p>公共施設において備品の破損や未設置、古いままの案内表示が見受けられる。</p> <p>施設や備品の管理・点検方法や事務機器等の設置状況などを検証し、事務処理の効率化、施設の長寿命化を図ることが必要と考える。</p> <p>(1) 設置されている備品が安全に使用できるか、適正数量の確認など、定期的な管理をどのようにしているか。</p> <p>(2) 案内表示の更新確認や、分かりやすい表示方法の検討をする考えは。</p> <p>(3) 事務の効率化を図るため、適切な機器の設置を検討しては。</p> <p>(4) 施設の長寿命化を目指し、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の視点で意識改革をする考えは。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
3	台蔵征一	<p>◎ <b>先進的地域として期待されている鹿追農業のこれからは</b>  酪農への支援体制が整ってきたことで生乳生産量が伸びてきており、多頭化によるふん尿や雑排水処理等、先送りできない問題がある。</p> <p>バイオガスプラントを利用していない4地区連盟で、町に対しバイオガスプラント建設について要望書が出されている。</p> <p>安定した農業基盤を確保し、若い人たちが安心して農業が継続できる支援策を続けることは重要と考える。</p> <p>(1) 第3のバイオガスプラント建設計画はどこまで進んでいるか。</p> <p>(2) 酪農の規模拡大に伴う乳牛育成牧場の増頭対策は。</p> <p>(3) 担い手育成事業である01農業塾と産業研修制度の継続と、男性研修生及び従業員を含めた今後の方向性は。</p>
4	山口優子	<p>◎ <b>鹿追高校生に対する学校給食の提供は</b>  平成28年12月議会において、幼小中高一貫教育における学校給食のあり方について一般質問をした。</p> <p>答弁は、「鹿追高校生に対する給食提供は、保護者や子どもたちのニーズを踏まえ、道教委と協議する必要がある」ということであった。</p> <p>新しいこども園が完成し、12月からは共同調理場の調理食数も減少となる。給食を提供している高校は少なく、中学生が高校を選ぶ際のアピールポイントにもなると思う。</p> <p>その後の検討の内容・協議の結果は。</p> <p>◎ <b>旧幼稚園舎・旧保育園舎の活用計画は</b>  新しいこども園が完成後の旧幼稚園舎と旧保育園舎はどのように活用する計画か。</p> <p>幼稚園舎は比較的築年数も浅く、中央公園に隣接している立地なので、有効に活用できる手立てがあるのではと考える。</p> <p>町立図書館の新築計画が検討されているが、一時的に幼稚園舎に移しては。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
4	山口優子	<p>町内の方からは、スポーツ合宿や農業アルバイトの宿泊施設、他の住民と気軽に交流できるシェアハウスがほしいなどの要望も寄せられている。</p> <p>◎ <b>ごみ収集事業と紙おむつのリサイクル推進について</b></p> <p>令和3年4月から、埋め立てごみは帯広市のくりりんセンターへの搬入が開始される。</p> <p>現在よりも分別が増えることで、町民の負担も増えることが予想される。</p> <p>(1) 町民に対する変更の周知はどのように考えるか。</p> <p>(2) ごみ袋の価格はどのように変更されるか。</p> <p>(3) 町内のごみの総量・構成比・組成分析は。</p> <p>埋め立てごみで紙おむつの重量が占める割合・年間量は。</p> <p>病院や介護施設、こども園などの事業所から排出される紙おむつの量は。</p> <p>(4) 子育て・介護支援として実施されているオムデール事業で、年間に支給したごみ袋の枚数は。</p> <p>くりりんセンターへの搬入変更に伴い、オムデール事業はどうなるか。</p> <p>他市町村のように、紙おむつのみの排出で無料収集する考えは。</p> <p>(5) 水分量の多い紙おむつを燃やすと焼却炉に負荷をかけることから、紙おむつのリサイクルに取り組んでいる自治体もある。</p> <p>平成30年6月に環境省から示された「循環型社会形成推進基本計画」の中でも、「高齢化に伴い大人用紙おむつの利用が増加することを踏まえ、使用済み紙おむつリサイクル技術等の調査、リサイクルに取り組む関係者への支援、リサイクルに関するガイドラインの策定等を行う」とされている。このことについての町の考え方は。</p> <p>(6) くりりんセンターは令和9年完成予定で建て替えを計画しているが、町はこの計画にどのように関わるか。また、建設費が285億円かかる予定だが、町の負担はどのようになるか。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
5	埴淵賢治	<p>◎ 道の駅しかおい再構築の考えは</p> <p>道の駅は道内に125カ所、十勝には14カ所設置されている。数年後には北十勝4町全てに道の駅が設置されることになり、十勝管内外から交流人口、観光人口増加に期待が寄せられる。</p> <p>道の駅しかおいは、平成15年に道内82番目の道の駅として登録された。</p> <p>千の公園内にあり、近くには町民ホール・神田日勝記念美術館・トリムセンター（入浴施設等）・コンビニがある等、利便性が高く好条件が整っている。</p> <p>(1) 現在の「道の駅しかおい」の規模は適切と考えるか。</p> <p>(2) 特産品開発支援と方向性は。</p> <p>(3) 北十勝4町で道の駅広域連携を図る考えは。</p>